

2026年2月16日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 T O R I C O
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 安 藤 拓 郎
(コード番号：7138 東証グロース市場)

イーサリアム上での世界第2位規模（預かり資産100億ドル超）のレンディングプロトコル
「Morpho」とオンチェーン運用戦略構築に向けた協業検討を開始

株式会社TORICO（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：安藤拓郎、以下「当社」）は、イーサリアム（ETH）を中心としたデジタルアセット・トレジャリー（DAT: Digital Asset Treasury）戦略のさらなる高度化を目的として、世界第2位規模（預かり資産100億ドル超）のレンディング（貸借）プロトコルである Morpho Association（本社：24 Rue de Clichy, 75009 Paris、CEO: Paul Frambot、以下「Morpho」）と、オンチェーン運用戦略構築に向けた協業検討を開始したことをお知らせいたします。



■協業検討の背景

当社は、日本発のイーサリアムトレジャリー企業として、イーサリアムの長期保有にとどまらず、ステーキングやDeFi（分散型金融）を活用することで、イーサリアム経済圏の成長を企業価値へと転換するトレジャリー戦略を推進しています。

こうした取り組みの一環として、当社はイーサリアムをステーキングした状態を維持しながら、資金効率を高めるオンチェーン運用手法について検討を進めてきました。今回の協業検討では、オンチェーン金融における企業向けユースケースで実績を持つ Morpho と連携し、イーサリアムを活用したレバレッジ型オンチェーン運用戦略の設計およびリスク管理の在り方について検討を行います。

■協業検討の概要

本協業検討では、イーサリアムをステーキングして得られる利回りと、担保付きの借入を組み合わせること
で、イーサリアム建て収益の効率向上を目指す運用戦略を対象としています。

具体的には、イーサリアムステーキングプロトコルである Lido 等を通じて取得したステーキングトークン
を担保として活用し、Morpho のレンディング機能を用いることで、資本効率を高める運用手法について検
討を行います。なお、本件はあくまで戦略検討段階であり、現時点で具体的な運用開始や資金配分を決定し
ているものではありません。実運用にあたっては、市場環境やリスク状況等を十分に考慮した上で、慎重に
判断していく方針です。

■リスクに関する考え方

本戦略は担保付き借入を伴うため、市場価格の変動等による清算リスクや、金利変動リスクが存在します。
当社では、低レバレッジ設計、担保率に十分な余裕を持たせた運用、オンチェーンデータの常時監視などを
前提としたリスク管理体制の構築を想定し、段階的に検討を進める予定です。

また、本戦略については、海外法人の設立を検討した上で、海外法人において実施することを想定してお
り、各国の法規制や実務面を踏まえた検討を行っていきます。

■コメント

TORICO Ethereum COO 高橋 基希

今回の協業検討は、当社が保有するイーサリアムを単に保有するだけでなく、利回りの
向上を意識した形で活用していくための取り組みです。ステーキングを基盤としつつ、
DeFi を適切に活用することで、ステーキングによる利回りをさらに高めていくための一
歩だと考えています。

一方で、リスク管理を最優先とし、担保率や市場環境を十分に考慮しながら、資本効率
と安全性のバランスを重視した形で、段階的かつ慎重に検討を進めてまいります。



Morpho CEO Paul Frambot

(英語原文)

TORICO's exploration into allocating capital on Morpho from its DAT entity
shows the confidence in Morpho's open infrastructure.

With 2025 in the rear view mirror, Morpho has become the go-to infrastructure
for enterprise use cases of onchain finance, with DAT companies like Gamesquare
and BTCS allocating significant capital into Morpho Vaults.

We're encouraged to see a Japanese listed company like TORICO exploring on-
chain treasury use cases.



(日本語訳)

TORICO が Morpho の利用を検討していることは、Morpho の金融インフラとしての信頼を示すものです。

現在、Morpho はオンチェーン金融の企業向けユースケースにおける主要インフラとなり、Gamesquare や
BTCS といった DAT 企業が Morpho に多くの資本を投入しています。

当社は TORICO のイーサリアムトレジャリー戦略を強く支持し、同社がオンチェーン金融分野でこの挑戦に
取り組むことを歓迎して、日本におけるオンチェーン財務管理の分野でリーダーとなることを期待していま
す。

■Morpho Associationについて

概要：預かり資産 100 億ドル超を有するレンディング（貸付）プロトコル。企業は Morpho のオープンインフラに接続することで、暗号資産担保型ローンの組成やカスタム利回りソリューションの構築など、あらゆる貸付／借入をスケール可能な形で実装することが可能。

商号：Morpho Association

所在地：24 Rue de Clichy, 75009 Paris, France

代表者：CEO Paul Frambot

公式サイト：<https://morpho.org/>

■当リリースに関する問い合わせ先

株式会社 TORICO 管理部 IR 担当

メールアドレス：ir@torico-tokyo.com

I R ページ：<https://www.torico-corp.com/ir/>

以 上